

2013年3月25日号

Tel/Fax 042-668-1020 E-mail info88@wakaokimie.jp
<http://wakaokimie.jp> http://twitter.com/wakao_kimie

発行 若尾きみえと生き生き市民会議



TOPICS

▶前市議会議員 若尾きみえの活動と市政報告

バス停・みなみ野大橋が実現／空き家条例が制定に

「八王子スポーツパーク建設計画の中止を求める請願」は継続審議／中核市移行 問われるまちづくりのビジョン

ごあいさつ

身近なことから地域から！ 復興問題を共有し、未来に生かしていきたい

東 日本大震災から2年。福島原発は、今も高濃度の放射能汚染に見舞われ、作業員は大量被爆の中作業を進めています。そして、被災地では、なかなか復興が進まず、日本社会が積み残してきた課題が、露呈していると言われていいます。首都圏では、穏やかな日常に戻っていますが、復興は、人ごとではなく、自分たちの問題。できる支援をしつつ、日本社会の未来を創っていく糧にし、地域づくりに生かしてい

くことが大切だと改めて感じています。エネルギー問題、防災のまちづくりやコミュニティの再生など、みなさんと一緒に考え、できることから地域の中で、取り組んでいきたいと思ひます。



前市議会議員 若尾 きみえ

第5回 まちづくり 市民講座

「どう変わる？相続税・贈与税」

～知って安心、トラブルを避けるための基礎知識～

- 日 時／4月20日(土) 13:00～15:00
- 場 所／めじろ台第一会館 (八王子市めじろ台4-12-1 Tel 663-2744)
- 参加費／資料代 200円
- 講 師／井上 得四郎さん(税理士法人井上会計 税理士)
井上 英樹さん(ファイナンシャルプランナー 株式会社 チョイス代表取締役)

お知らせ



🕒 まちなか探索隊

- 八王子の商店街を探索し、地域のお宝を発見。
空き店舗活用の可能性など、今後のまちづくりを皆さんと一緒に考えます。
- 日 時／5月17日(金) 10:00～ 雨天時は延期
- 集合場所／八王子駅北口ドンキホーテ前広場 自転車で集合
- 参加費／無料 (昼食は実費)

申し込み

裏面下の連絡先
若尾きみえと
生き生き市民会議
まで

写真で
見る

活動報告



◎粕谷和夫さんを講師にまちづくり講座を開催



◎ゆるキャラの勉強会にて。八王子の「たき坊」、渋谷の「くもっく」と



◎お帰りなさいお父さんパーティー。滝山城跡群自然と歴史を守る会の皆さんと



◎バス停・みなみ野大橋が新設



1 バス停・みなみ野大橋の新設が実現

兵衛の循環器専門クリニックに通う心臓病の患者さんから、バス停新設のご要望を頂いたことを機に、地域の方にもご意見をお聞きし、京王バスに要望してきました。

この度八王子みなみ野駅・北野駅間のバス路線に、みなみ野大橋バス停が新設されました。（4月1日から使用できます。）皆さんのご協力、ありがとうございました。

2 「八王子スポーツパーク建設計画の中止を求める請願」は継続審議

2回目も継続審議となった本請願は、「八王子スポーツパークの建設促進を求める請願」と同時に審議されています。推進側は、自然環境に配慮した施設をつくると述べていますが、多様な生物が生息する大沢川源流部に、大量の残土を搬入すれば、貴重な自然が破壊されることは否めま

せん。水みちがあるような山での開発行為は災害につながる危険性もあります。緑は「市民共有の財産」という認識で、守る努力をしてきた本市ですが、石森市政になってからは、他の地域でも開発の流れが加速しています。市民の注視と声は今こそ大切です。

3 「八王子市空き家の適正管理に関する条例」が制定に

空き家管理の責務を明確にし、不適切な管理には市が指導勧告する空き家条例が制定されたことは、一方前進です。しかし、深刻化する空き家問題は、少子高齢化、世帯数の減少に加え、相続や固定資産税などの要因もからんでいます。単に個人の問題だけでなく、税制や都市計画、コミュニティの観点からも取り組みが必要です。

空き家バンクを創設し、空き家の活用で、地域の活性化を図る自治体もあります。庭付き戸建てのニーズがある若い子育て世帯に空き家を活用してもらう新たな住宅支援策などで、高齢化した地域も、若い世代も元気になるまちづくりを進めていくことが、今後求められていると思います。

4 どう考える？中核市移行 問われるまちづくりのビジョン



◎財源問題にはさらなる研究と協議、慎重な判断を

前回のレポートで、中核市移行での財源問題を取り上げてきました。その後市は、都との協議で、「都単独事業部分の財源提供はする」との回答を得たしていますが、都は「お金を出す、口も出す」という考え。

これでは、めざす分権化と言えるのか疑問です。また、中核市移行で地方交付税が増えるというのが市の見解ですが、多くの中核市が財源問題の壁に突き当たっています。さらなる研究と協議、慎重な判断が必要です。

◎職員の人材育成も大きな課題

中核市へ移行した多くの自治体では、時間をかけたていねいな議論と準備のプロセスを踏んでいます。これまで八王子市は、小さな政府をめざし、職員数削減、専門的職員の育成よりは、ジェネラリスト育成の方針をとっ

てきました。中核市移行に向け、専門性の高い事務を適切に行う人材育成が必要ですが、移行を急ぐ本市に、職員からも準備不足を懸念する声が出ています。

◎どういうまちづくりをめざすのか？ 分権化で首長の姿勢、市民の力も問われる

開発行為の許可権限は、移行後、都から市に移譲されます。川町の市街化調整区域の緑を巡り、開発か保全か、まさに議論が行われている最中ですが、首長の姿勢は、まちづくりを大きく左右します。攻めのまちづくりを掲げる石森市長は、少子高齢化が進展し、税収確保が厳しいこの時代に、開発に舵を切ろうとしています。しかし、今求められているのは、開発に税金をつぎ込み、まちを拡大することではなく、空き家や空き店舗が増える中で、コンパクトシティ構想のもと、今ある地域資源

を最大限に生かしたまちづくりを進め、地域を再生し、まちや市民を元気にしていくことだと思います。

地方分権への取り組みは大切ですが、開発の方向を向いた石森市政での中核市移行が、果たして八王子のまちづくりに効を奏すのか。まさにまちづくりに対する首長の姿勢と力量が問われ、最終的には、市民の考えと力も問われてくる問題だと思います。今こそ、市政に対して多くの市民に関心を持ってほしいと思います。

あなたのご意見・ご提案をお気軽にお寄せください！

若尾きみえと生き生き市民会議

〒193-0833 八王子市めじろ台3-19-14
E-mail: info88@wakaokimie.jp

TEL&FAX 042-668-1020

HP <http://wakaokimie.jp>  若尾きみえ

若尾きみえプロフィール▶1964年岡山県生まれ、岡山大学教育学部卒業 ▶職歴
／岡山市立幼稚園にて教諭、結婚を機に退職後、仙台市、富山市にて英会話講師
▶活動歴／八王子市環境基本条例制定に向けて活動、八王子市ゆめおり市民会議環境
境分科会メンバー、八王子市西南部環境市民会議会員、2003年市議会議員初当選
後、市議として2期活動、地域で高齢者福祉・医療問題に取り組む